



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 須藤里佳

令和7年3月28日

nishizato



祝 11人の卒業生 おめでとう！



3月18日（火）令和6年度卒業証書授与式が行われました。令和最初の年に入学し、令和2年に2年生になり、令和3年に3年生、と令和と共に学年を刻んだ子どもたちです。令和7年ラッキーセブンが旅立ちの時とは、何とも明るい気持ちになります。

子どもたちには「感謝」の気持ちを表すことをめあてにして式を行おうと話しました。始まりの卒業生入場の時の在校生のまなざしや拍手から、温かな気持ちがあふれていました。式の所作や作法などよりも、式に臨む気持ちが大事なのだと改めて思われました。緊張した面持ちながら堂々とした姿を見せようとする卒業生の凛とした思いが伝わってきました。「別れの言葉」でのこぼれる涙を見ると、卒業式がいかに大きな区切りの式であるかを感じます。門出式を含め、大きな声で共に歌う姿、拍手をおくる姿一つ一つに、西里小の仲間としての絆を感じます。すばらしい卒業式でした。**11人の子どもたちの これからの歩みに 幸多かれ！**

令和6年度の西里小お別れの会

修了式後、令和6年度西里小学校お別れの会をしました。昨年度までは離任式がありましたが、今年度はありません。転任される先生だけで学校が変わるのではありません。学校は職員の入れ替わり、卒業と入学で1年1年児童も変わります。この75名の児童と16名の職員で過ごした令和6年度のけじめをつけました。



「青い目の人形」を通して「戦争」を考える

今年も「青い目の人形」を通して戦争を考える授業を行いました。山形県出身児童文学者の須藤克三著『白鳥になった人形』という絵本の主人公は、山形の学校を卒業して西里村小学校の先生になった。」と書かれています。昭和2年の日米「友情人形計画」でアメリカから贈られた「青い目の人形」を西里小で大事にしたという場面が描かれています。しかし約1万2千体贈られた人形で現存しているのは350体あまりです。谷地中部小学校に残っている一体をお借りし、語り部をなさっている佐藤朱美氏とともに「戦争について考える」授業を6年生で行いました。



人形が太平洋戦争中に殆ど破壊されたことを知り、当時の子どもたちの気持ちを想像してみました。「大事にしていた人形を、本当はそんなひどいことしたくなかったんじゃないかな。」「戦争で家族が殺されたりしたら敵国の人形を憎く思うかも。」と意見を交わしていました。戦争は昔のことではなく、今も世界のあちこちであります。平和を真剣に考える人になってほしいと願います。まず戦争を知ることが第1歩です。

大変お世話になりました(転出)

校長 須藤 里佳 退職 短時間再任用：寒河江中部小へ
教諭 兼子かおる 退職 再任用：谷地南部小へ
教諭 樋口 智一 新採教頭として河北町立谷地南部小へ
助教諭 奈良崎信隆 河北町立谷地中部小へ
講師 宮坂 俊二 退職 再任用：天童市立津山小へ
教育業務支援員 榎谷衣里子 退職
学習生活指導補助員 有路律子 河北町立北谷地小学校へ

おめでとう 六年 庄司 壮瑠 さん
全国小学校陸上大会に男女混合四〇〇m
リレーで出場した実績が認められ、県教育委員
会より「山形県スポーツ優秀賞」の表彰を
受けました。

よろしく願いいたします(転入)

校長 齋藤 恒治 大江町教育委員会より
教諭 鈴木沙弥香 大江町立左沢小より
教諭 草苅 利憲 寒河江市立南部小より
英語専科 砂田ゆかり 河北町立谷地中部小より
教育業務支援員 吉田 恵里 寒河江中部小より

※ほかに講師1名が予定

4月の予定



年度初め休業 ～ 4/7(月)

8(火) 新任式・始業式・入学式
9(水) 通学路点検・知能検査
10(木) 弁当・学力テスト
1年生下校指導18日まで
11(金) 給食開始・学力テスト
PTA 役員会・常任委員会

14(月) 避難訓練
15(火) 身体計測
16(水) 子ども文庫
17(木) 全国学力・学習調査(6年)
21(月) 創立150周年の日
24(木) 内科検診・1年生を迎える会
25(金) 給食なし2校時限(午後 河北中 PTA 総会)
授業参観・PTA 総会・学年総会



